



長岡高校 写真部の紹介

皆さん、こんにちは！

この記事では、長岡高校の写真部について紹介します。

1.部員

新3年生12名、新2年生11名の計23人で活動しています。

男女、学年の壁を越えて、撮影を行ったり、楽しく活動したりしています。

2.活動について

週2回程度(原則水・金曜)の活動を行っています。ミーティングや技能講義、お互いモデルになって作品作りを行います。

大会前は、出品準備が終わるまで毎日活動します。

また、学校行事の時には、写真部として撮影を行い、学校HP、和同会(長岡高校生徒会)などに写真提供も行っています。

3.年間スケジュール(令和5年度)

写真部の活動はおおよそ学期ごとに活動の流れがあります。

★1学期

4月...部活動集会、写真甲子園応募

5月...十日町きものまつり撮影会

6月...撮影大会、体育祭の撮影、体育祭部活動対抗リレー出場

7月...第一部会(球技大会:バスケ、バレー、サッカー、卓球)の撮影、県主催技能研修会

★2学期

8月...山古志闘牛撮影会

9月...和同祭(スタンプラリー・写真展示)総合文化祭(につながる新潟県予選)

10月...「長岡市」や「よみうり」など、さまざまなコンテストに応募します!

11~12月...次年度に向けて振り返り、組み写真の班編成

★3学期

1月~2月...顧問の先生から技術を教えていただき、部員で協力しながら技術を習得していきます。

3月...三送会、年度末旅行

*写真甲子園...三人一組で、決めたテーマに沿った写真を組み合わせて一つの作品を作ります。入賞すると、7~8月に全国大会があります。

*撮影大会...新潟市に泊まり、2日間で行います。初日は市内で写真を撮り、二日目に一人一枚写真を提出し、賞を決めます。編集はできず、撮影時間も決まっているので、撮影するときの構図や、小道具に工夫が必要です。

*総合文化祭...1年間かけていろいろな写真を撮ります。その中から、一人最大6枚選び、賞を決めます。毎年三千枚を超える作品が応募されるととても大きな大会です!

*組み写真...複数人でテーマに沿って作る、いわば「写真の団体戦」です。テーマ決めから実際の撮影、写真選び、写真の位置決めなど、することはたくさんで、大変ですが、とても楽しいですよ!

4.大会実績(令和5年度実績)

・撮影大会

奨励賞 2名、入選 3名

・写真専門部展

【個人部門】優秀賞 1名、奨励賞 2名、入選 11名

【共同制作部門】奨励賞 長岡高等学校E

【学校賞】 第6位 長岡高等学校

・小千谷市展 写真部門

奨励賞 1名、佳作 3名

・長岡市展 写真部門

入選 20名(21名出品)

・新潟県写真サロン 第3部 自由作 高校生以下の部
入選 5名

・日韓中高校生フォトコンテスト
入選 1名

5.現部長よりコメント

写真部は、個性のあるさまざまな部員が所属しています。そのため、部員によって撮る写真の「被写体」や「何を写真に写すか」などが違って、新しい感性・感情に出会うことができます。

今やスマートフォンのカメラを使えば、簡単に写真を撮ることができます。しかし、私たちが使う一眼レフでは、さまざまな数値を設定して、写真の出来を工夫します。これによって、まったく違う写真(例えば、明暗とか、ピントの合う範囲など)を撮ることができ、これが写真の魅力の内の一つだと思います。

①活動を通して、カメラ・スマホでの写真を上達させたい、②写真で何かを表現したい、③写真の被写体としてモデル活動してみたい、④カメラの仕組みなどについて知りたい、という方、是非長岡高校写真部に入部してください!!!部員一同待っています!

6.活動に使う道具

写真部の活動では、道具を使用します。いくつか紹介します。

・カメラ...デジタル一眼(レフ)を使います。ミラーレスカメラを使う部員も数人います。

・交換レンズ...一眼(レフ)カメラでは、レンズを交換でき、ズーム、広角、望遠レンズと大きく3種類あります。

・SDカード...写真を記録するのに使います。複数枚持っている強者もいます。

【入部を考えている生徒さんへ】これらの道具は、入部してからの購入で結構です。そろえるのにはお金がかかりますので、親戚の使っていないものを探したり、中古品を買うなどするとよいでしょう。

7.写真 ①活動の様子



◆体育祭(部活動対抗リレー)



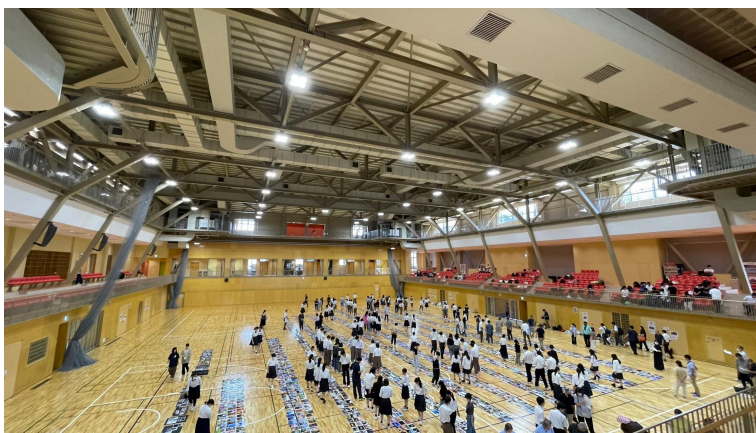
◆撮影大会でのコマ



↓小道具などを使って、撮影をします！



◆総合文化祭...総合文化祭の一次審査の様子です。体育館に三千枚を超える写真を並べ、審査を行っています。



②部員の写真





Nagaoka H.S.
Photography Club
Wado-Sai 2023